

# 株主のみなさまへ

第54期第2四半期 営業のご報告  
2014年4月1日～2014年9月30日

- 1 初めてのシマセイキ
- 3 社長メッセージ
- 7 事業別のご報告
- 9 特集：デザインシステムと  
その活用事例
- 11 連結財務諸表
- 13 会社概要
- 14 株式概要



初めてのシマセイキ

# シマセイキは、コンピュータ横編機のリーディングカンパニー

皆さんが着ているニット外衣の多くは、横編機を使って作られています。  
シマセイキはコンピュータ横編機メーカーとして、世界をリードし続けています。

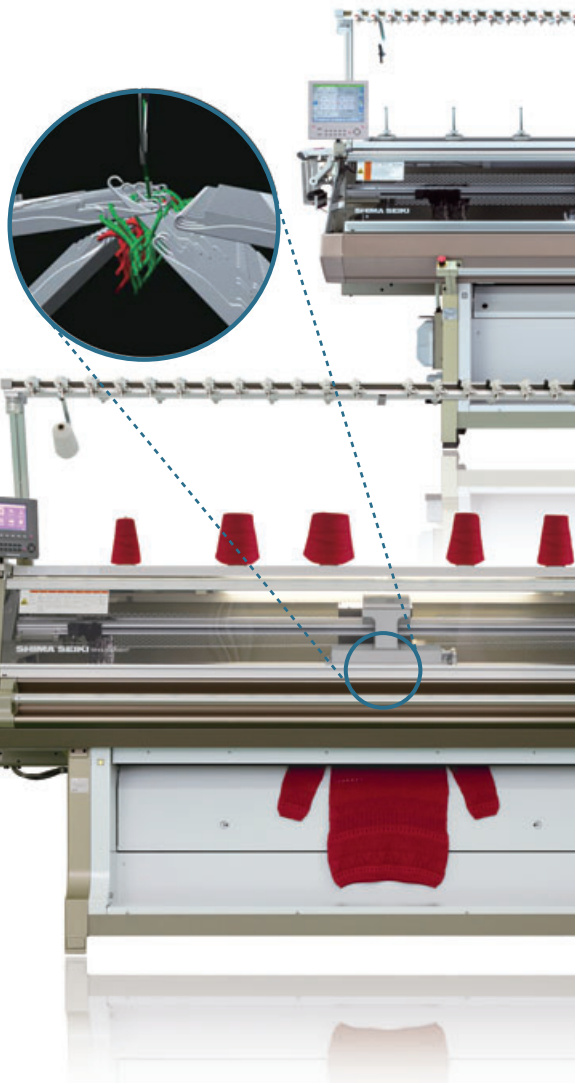
## コンピュータ横編機とは

コンピュータ横編機はニットを自動で編む機械です。複雑な手編みの動きを、メカトロニクス技術を駆使して機械化しています。

シマセイキは、数多くの世界初の製品を世に送り出し、競合他社の追随を許しません。

## ニットの特長

ニットとは、ループ状の編地になっている服や生地のことです。伸縮性があり、からだにやさしい衣料で、通気性が良くカラーバリエーションも豊富です。春や夏でも、適した素材を使用することで、一年中着用することができます。



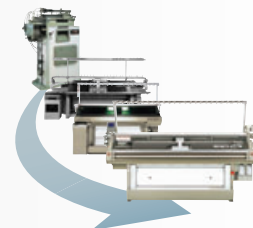
です。

## シマセイキ 5つの特長

1

### 技術革新を続けて半世紀

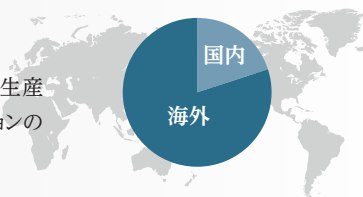
日本唯一のコンピュータ横編機メーカーである当社は、機械と電子の技術を融合した総合メカトロニクス企業として、50年以上にわたり、技術革新を通じて日本のみならず世界のニット・アパレル産業の発展に貢献しています。



2

### 海外販売が80%以上

世界最大のニット生産地である中国・香港をはじめ、新たな生産拠点として注目される南アジア・ASEAN諸国、先端ファッションの中心地イタリアなど、全世界で高いシェアを誇っています。



3

### 国内での一貫生産によるジャパंकオリティ

本社工場（和歌山）1ヶ所に製造を集約し、部品から組み立てまでの一貫生産により多種多様な製品を効率的に生み出すとともに、耐久性・安定性などの優れた品質を確保。世界の顧客から高い信頼を獲得しています。



4

### 横編機の最高峰ホールガーメント®

シマセイキが独自に開発した「一着丸ごと縫い目がないニット」を作るホールガーメント横編機は、高いデザイン性と着心地の良さを実現。カットロスや縫いしろが不要なため省資源なうえ、世界的な縫製技術者の不足という問題の解決にも大きく寄与します。



5

### アパレル分野以外にも積極展開

デザインシステム事業では、自動車、産業資材、航空宇宙など、アパレル以外の分野にも幅広く提案。炭素繊維強化プラスチックも自在に切り抜く自動裁断機など、高性能・高品質の製造機器を各業界に提供しています。



当社製品の強みが評価され、国内外とも増収を達成。  
この流れをより一層発展させ、  
さらなる成長を目指していきます。

代表取締役社長  
島 正博

**Q** 上半期(2014年4月～9月)の市場環境と業績について説明してください。

**A** アジアを中心に販売を拡大。売上高・営業利益とも大幅増となりました。

上半期の連結売上高は257億84百万円(前年同期比23.1%増)となり、営業利益も30億44百万円(同61.3%増)と、いずれも大幅な増加となりました。

前期(2014年3月期)の業績回復は、それまで長く続いた円高の是正という追い風の影響も多分にありましたが、上半期の好業績は、マーケットの広がりに加え、高品質・高機能の製品、きめ細かなサービス体制など、当社が持つ高い競争力を発揮できた結果であると捉えています。

下半期以降もこの勢いを持続し、グローバル市場における競争力をさらに強化することで、事業全体を新たな成長軌道に乗せていきたいと考えています。

**Q** 事業分野別の状況と主な取り組みについて説明してください。

**A** ニット産業を主軸とし、ニット分野以外への販売も着実に拡大しました。

上半期の横編機事業で特に目覚ましい拡大を見せたのは、欧米アパレルの生産拠点として中国からの生産シフトが急速に進むバングラデシュや、タイ、ベトナム、インドネシアな

## 企業理念

# Ever Onward — 限りなき前進

当社は、「手袋編機の全自動化」という難課題を実現するため、現社長・島正博が1962年に設立しました。「限りなき前進— Ever Onward」を経営理念に掲げ、常に新しい技術の開発を目指して、惜しみない努力と未知なる領域への挑戦を続けてまいりました。

創業以来、時代のニーズを先取りした横編機やデザインシステムを次々と開発し、世界のトップメーカーへと成長。90年代には、「産業革命に匹敵する」と評された無縫製型の「ホールガーメント®横編機」の開発に成功しました。

今後も新たな技術開発へのチャレンジを続けながら、企画提案型のビジネスモデルの浸透を図り、アパレル産業のみならずさまざまな産業の発展に貢献してまいります。

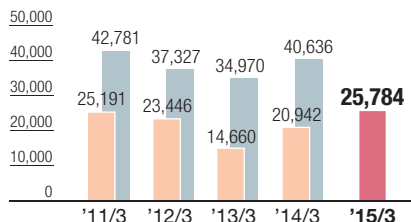
どのASEAN諸国です。いずれの国も大きく売上が伸び、事業全体を牽引しました。また、横編機の主力市場である中国・香港でも、国内衣料品の需要に向けて設備投資が回復し、競合他社に対する当社の優位性が認められ堅調に販売を伸ばしました。先進国市場では、ファッション産業の中心地であるイタリアは、景気回復の遅れから設備投資が停滞して伸び悩んだものの、他の欧米諸国では自国生産の動きが広がりました。また、国内市場でも政府の支援策などに

より、設備投資は堅調に推移しました。

デザインシステム関連事業では、「SDS®-ONE APEX3」が国内や欧州、アメリカなどでデザイン機能ツールとしての活用を広げ、テキスタイル、丸編み、プリント、タオルなどのニット以外の業界だけでなく、インテリア、雑貨、自動車関連など異業種分野の顧客にも導入が進みました。自動裁断機「P-CAM®」も国内を中心に販売を伸ばし、自動車内装部品や産業資材などの新分野でも導入実績を上げました。

### 売上高

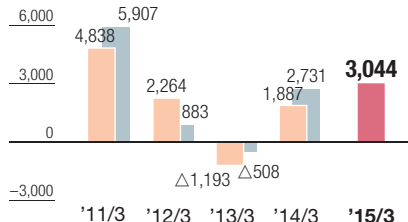
(百万円)



■ 第2四半期累計 ■ 通期

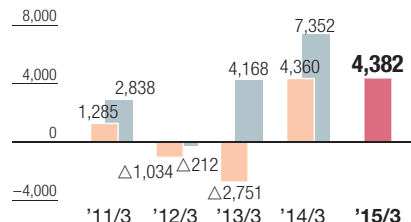
### 営業利益・損失(△)

(百万円)



### 経常利益・損失(△)

(百万円)



#### 将来の見通しについて

本報告書に記載されている将来に関する予測については、現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断に基づいて行った予測であり、実際の業績は、さまざまな要素により、これらの予測とは異なる結果となる場合があることをご承知おきください。

## 社長メッセージ



PREMIERE VISION PARIS



ITMA ASIA+CITME 2014



SHIMA SEIKI 東京総合展

### Q 下半期以降の取り組みについて説明してください。

**A** 望ましい環境のもと、シマセイキの強みを全世界でさらに発揮していきます。

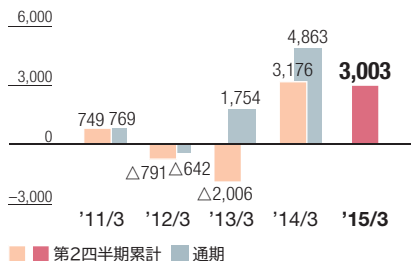
下半期も、世界各地における提案活動を積極的に行い、さらなるビジネス拡大を目指します。現在の円安基調の追い風の中、より生産性が高く使いやすい新製品の開発や各地の市場状況に応じたきめ細かい技術サービス、アフターフォローの拡充によって競合他社との差別化を一層強化し、事業の成長につなげていきます。

当社の中長期的な成長の鍵を握るホールガーメント横編機

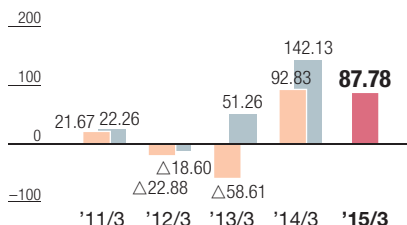
についても、引き続き注力します。2015年は、当社がホールガーメント横編機を開発・発売して20年の節目の年となります。時代とともに機能や生産性を高め、今後もよりコストパフォーマンスの高い新機種の開発を続けていきます。市場ニーズに応じた提案を精力的に行うことで、ホールガーメント横編機を新たな成長ステージへ引き上げていく考えです。

これらの取り組みにより、当期の通期業績予想は、売上高510億円、営業利益60億円、経常利益68億円、当期純利益46億円を計画しています。

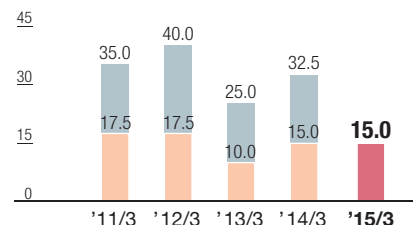
### 四半期(当期)純利益・損失(△) (百万円)



### 1株当たり四半期(当期)純利益・損失(△)(円)



### 1株当たり配当金 (円)



## Q 株主へのメッセージをお願いします。

### A 業界にイノベーションを起こすため、 ビジネスモデルの提案を強化します。

第2四半期の配当金については、1株につき中間配当金15円を実施させていただき、期末配当金17円50銭と合わせて合計32円50銭を予定しています。

当上半期は、長年、中国や韓国製の低価格機に苦戦を強いられてきた手袋靴下編機が前期から倍増という好業績を上げました。これは競合他社よりもはるかに優れた当社製品の安定性・信頼性が、多くの顧客に再認識された結果です。他の事業においてもこうした高評価をより多くの顧客から獲得することで、さらに業績を伸ばせると考えています。

このような競合他社への優位性に留まらず、重要なのは市場の拡大であり、そのためのイノベーションを起こすビジネスモデルの提案です。当社のホールガーメント横編機は大人用からベビー用ウェアまで、そして、手袋、靴下、帽子やネクタイなど頭から足先までの多彩な衣類やアクセサリを

生み出します。単に縫い目がないだけでなく「新たな造形美」を創造できる機械であることを理解してもらえれば、ホールガーメント横編機の需要は広がっていくと期待しています。

今後も「Ever Onward— 限りなき前進」の精神を持って、積極的な提案を継続し、各地に存在する潜在ニーズを掘り起こすことにより、生産性・デザインの両面で革新をもたらす、独創性の高い製品を世界に広めていきます。株主の皆様には、引き続き温かいご理解とご支援をお願い申し上げます。



## Column 米国ドレクセル大学から名誉博士号

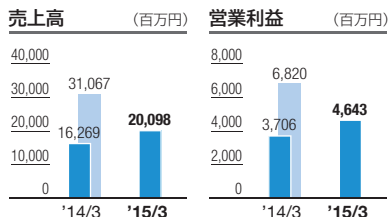


2014年6月、当社社長の島正博に米国ドレクセル大学から「名誉経営学博士号」が授与されました。同国トップクラスの私立大学として知られる当大学では、2012年秋に研究施設「SHIMA SEIKI Haute Technology Laboratory」が設立され、ホールガーメント横編機やデザインシステムを活用した学際的な共同研究が行われています。

今回の名誉博士号授与は、革新的なホールガーメント技術の開発とともに、世界に類を見ないニット技術の事業化に成功し、新しいビジネスモデルを確立したことが高く評価されたものです。



## 横編機事業



世界トップの技術力を誇るコンピュータ横編機を製造・販売する当社の主力ビジネス。一着丸ごと立体的に編み上げるホールガーメント®横編機、ループプレスナーを備えたSRY®, より充実した編成を可能にするSVR®, コストパフォーマンスに優れたSSR®など、独自の開発力を活かした豊富なラインアップを展開しています。

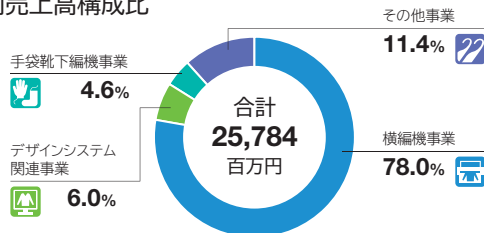
中国からの生産拠点のシフトによって設備投資が拡大するバングラデシュやASEAN諸国では、短納期で高効率な生産に対応できるコンピュータ横編機への転換が活発で、コストパフォーマンスに優れた「SSR」を中心に販売が拡大。アジア市場において前年から大きく売上を伸ばしました。

主力の中国・香港市場でも、人件費の上昇や労働力不足によりニットメーカーの事業環境は厳しい状況ですが、中間層の拡大による内需向けへの転換や、競争力の向上を図る動きが見られ、「SSR」のほか、機能向上を追求した新機種「SVR」などを中心に販売を拡大しました。

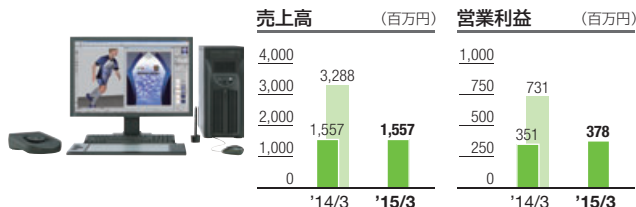
欧州市場については、イタリアの伸び悩みにより全体では微減でしたが、イギリス、スペインなどでは高付加価値製品を消費地で作る自国生産の機運が高まっています。

これらの結果、横編機事業の売上高は200億98百万円(前年同期比23.5%増)となりました。

## 事業別売上高構成比



## デザインシステム関連事業



アパレル業界のモノづくりを支援するデザインシステムを提供。バーチャルサンプルや三次元シミュレーションなど、多彩なデザインを可能にすると同時にリードタイムの短縮とコスト削減を実現。また、自動裁断機による異業種への展開も積極的に進めています。

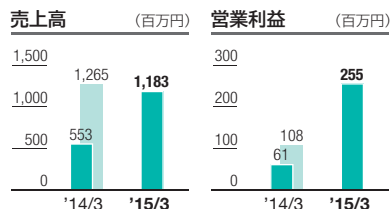
デザインシステム「SDS®-ONE APEX3」は、国内ではやや減速したものの、横編機のプログラミング機能が評価され中国・アジア市場で販売を伸ばしました。また、バーチャルサンプルを作成するデザイン機能の提案が徐々に功を奏し、テキスタイル、プリント、丸編みニットなどの業界への導入も進みました。

自動裁断機「P-CAM®」は国内市場を中心にアパレル以外の分野へも積極的な提案を進めた結果、自動車内装部品やインテリア、家具などにも販路を広げ、さらに産業資材、航空宇宙、複合材料などの新分野にも着実に受け入れられつつあります。

これらにより、デザインシステム関連事業の売上高は15億57百万円(前年同期比0.0%増)となりました。



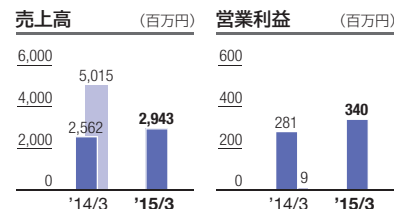
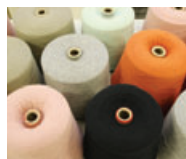
## 手袋靴下編機事業



当社技術開発の原点である手袋編機、靴下編機の製造・販売。ファインゲージ化も進め、医療用など高付加価値分野への対応を強化しています。

当期に設備投資が進んだアジアの新興国において、当社製品の安定性、耐久性、生産商品の品質の良さがあらためて評価を受け、第2四半期には前年の2倍以上の出荷台数を記録。上半期全体でも11億83百万円(前年同期比113.9%増)と売上が大幅に増加しました。

## その他事業



当社編機・システム機器のメンテナンス部品の販売や修理・保守、高級カシミア糸の紡績、ニット製品の販売などの事業を行っています。

部品販売、メンテナンスサービス、カシミア関連事業は、前期よりも販売が伸び、売上高は29億43百万円(前年同期比14.9%増)となりました。

### 『SHIMA SEIKI ニットコレクション』を発行

## モノづくりのプロセスも考慮したデザインを提案

「モノづくりのプロセスの革新を提案したい」との想いから、当社オリジナルサンプルを掲載した冊子『SHIMA SEIKI ニットコレクション』を年2回のペースで2013年9月より発行しています。

本冊子では、ファッショントレンドに即したデザイン性ととともに、製造に要するコストや時間など「製品としての経済性」も考慮し、糸、素材の選択から企画・デザイン・編成まですべて社内で作成したオリジナルサンプルを掲載。多種多様な消費者のニーズを見据えつつ、デザインシステム「SDS-ONE APEX3」でバーチャルサンプルを作成・検討してから実際のサンプルを作ることにより、アパレル・ニット業界のお客様が新しいカタチの製品づくりに活用していただけるようなサンプル集としています。

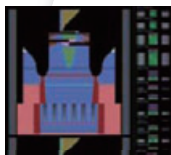
今後もこの冊子を通じて、多彩なニットの可能性を提案していきます。



# 「トータルファッションシステム」を実現する デザインシステムの広がり

横編機のプログラミングマシンとして1981年に発表したデザインシステムは、長年の開発により用途・機能を大幅に拡大。現在、デザインシステム「SDS®-ONE APEX3」は「トータルファッションシステム」の核として、さまざまな業種のお客様に採用されています。

ニットプログラミング  
から始まった



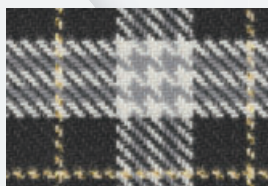
用途の広がり



デザインシステム  
「SDS-ONE APEX3」

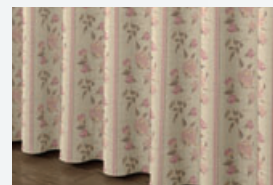
機能の広がり

織物、タオルなどニット以外の  
衣料デザインにも対応



チェック柄やプリント柄、刺繍柄  
など、多彩なデザイン機能を利用  
できます。

インテリアや産業資材  
分野などにも拡大



高精度な製品シミュレーション機能  
が、分野を越えてさまざまな商品  
に活用されています。

糸の毛羽まで再現する  
バーチャルサンプル



本物の糸のデータを使い、リアルな  
質感や風合いを再現。編地の形状  
や糸の起毛感まで伝えられます。

3D(三次元)技術を  
活用したモノづくり



3Dモデルによりサンプル作成の  
時間とコストを省け、最終製品の  
イメージもリアルに確認できます。

お客様事例：株式会社インテリックス様

## カーテンのシミュレーションに デザインシステムを活用

オーダーカーテンの製造・販売を手がける株式会社インテリックス様では、当社のデザインシステム「SDS-ONE APEX3」を導入して、ネット上でカーテンの“試着”ができるサービスを通販サイトで展開し、販売拡大につなげています。



Before

After

代表取締役社長  
木村 明人 様



### 株式会社インテリックス様ご紹介

「工場直営の均一価格」の独自ビジネスモデルで成長中のカーテン製造・販売会社。国内有数の自社工場を持ち、専門店「ジャストカーテン」を国内に11店舗展開。また全国の専門店にも卸販売するなど商品力でも高評価を得ています。



〒649-6311 和歌山県和歌山市里174-1  
TEL: 073-462-7724 FAX: 073-462-7758  
通販サイトURL: <http://www.justcurtain.interix.co.jp/shop/>

### ネット上で自分の部屋に合うカーテンを“試着”

シマセイキのデザインシステムを活用した“カーテン試着システム”は、通販サイトで試したい柄のカーテン生地を選んでボタンをクリックすると、そのカーテンが掛かった部屋の画像が表れ、イメージを確認できる画期的なシステムです。“試着”する部屋は、サイトに用意されたモデルルームのほか、撮影した自室の写真をアップロードして試すこともできます。

インテリックス様では今後、このシステムを店舗事業や卸売事業での提案力強化にも応用していく方針です。またカタログの制作などでも、デザインシステムを使って商品写真を“着せ替える”ことで撮影時間やコストの削減に貢献しています。



デザインシステムでカーテンの  
“着せ替え”を実現

### カーテンの新たな需要を掘り起こし、 マーケットを拡大していきます。

カーテン販売では、事前に「試せる」ことが購入の大きなポイントです。当社の直営店でも、お客様に生地サンプルを持ち帰って試してもらうレンタルサービスが好評で、こうしたやり方をネット販売でも再現できないかと考えていたとき、シマセイキのデザインシステムに出会いました。

今後はシミュレーション機能を活用して、季節に合わせたコーディネートなど、カーテンを身近なファッションアイテムとして提案することで新たな需要を掘り起こし、インテリア業界の活性化につなげたいと考えています。

## 連結財務諸表(要約)

### 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期末	前第2四半期末	前期末	科 目	当第2四半期末	前第2四半期末	前期末
	2014年9月30日現在	2013年9月30日現在	2014年3月31日現在		2014年9月30日現在	2013年9月30日現在	2014年3月31日現在
<b>流動資産</b>	<b>85,337</b>	<b>79,285</b>	<b>80,297</b>	<b>流動負債</b>	<b>19,135</b>	<b>18,276</b>	<b>18,514</b>
現金及び預金	13,706	18,598	16,002	支払手形及び買掛金	5,606	5,471	4,290
受取手形及び売掛金	52,226	40,505	42,964	短期借入金	6,501	5,199	6,695
その他	20,777	21,413	22,631	1年内返済予定の長期借入金	—	1,500	—
貸倒引当金	△ 1,372	△ 1,232	△ 1,301	その他	7,027	6,105	7,528
<b>固定資産</b>	<b>38,091</b>	<b>38,340</b>	<b>39,430</b>	<b>固定負債</b>	<b>7,984</b>	<b>8,560</b>	<b>7,989</b>
有形固定資産	20,060	20,052	19,876	長期借入金	5,000	5,000	5,000
土地	10,814	10,836	10,879	その他	2,984	3,560	2,989
その他	9,246	9,216	8,997	<b>負債合計</b>	<b>27,119</b>	<b>26,836</b>	<b>26,504</b>
無形固定資産	4,957	4,811	4,852	<b>株主資本</b>	<b>102,529</b>	<b>99,665</b>	<b>100,837</b>
のれん	4,851	4,711	4,762	資本金	14,859	14,859	14,859
その他	106	100	90	資本剰余金	21,724	21,724	21,724
投資その他の資産	13,072	13,476	14,700	利益剰余金	72,850	69,984	71,158
投資有価証券	7,863	7,346	8,417	自己株式	△ 6,904	△ 6,903	△ 6,904
その他	6,680	7,411	7,598	<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>△ 6,414</b>	<b>△ 9,069</b>	<b>△ 7,808</b>
貸倒引当金	△ 1,471	△ 1,282	△ 1,315	その他有価証券評価差額金	567	340	328
<b>資産合計</b>	<b>123,428</b>	<b>117,626</b>	<b>119,727</b>	土地再評価差額金	△ 7,007	△ 7,350	△ 7,350
				為替換算調整勘定	△ 309	△ 2,058	△ 1,138
				退職給付に係る調整累計額	333	—	351
				<b>新株予約権</b>	<b>180</b>	<b>180</b>	<b>180</b>
				<b>少数株主持分</b>	<b>13</b>	<b>12</b>	<b>13</b>
				<b>純資産合計</b>	<b>96,309</b>	<b>90,789</b>	<b>93,222</b>
				<b>負債純資産合計</b>	<b>123,428</b>	<b>117,626</b>	<b>119,727</b>

## 連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期累計 2014年4月1日から 2014年9月30日まで	前第2四半期累計 2013年4月1日から 2013年9月30日まで	前期 2013年4月1日から 2014年3月31日まで
<b>1▶ 売上高</b>	<b>25,784</b>	<b>20,942</b>	<b>40,636</b>
売上原価	14,531	11,799	23,367
売上総利益	<b>11,252</b>	<b>9,143</b>	<b>17,269</b>
販売費及び一般管理費	8,208	7,255	14,537
<b>2▶ 営業利益</b>	<b>3,044</b>	<b>1,887</b>	<b>2,731</b>
営業外収益	1,510	2,588	5,000
営業外費用	172	115	379
<b>3▶ 経常利益</b>	<b>4,382</b>	<b>4,360</b>	<b>7,352</b>
特別利益	61	—	—
特別損失	38	—	122
税金等調整前 四半期(当期)純利益	<b>4,406</b>	<b>4,360</b>	<b>7,230</b>
法人税、住民税及び事業税	1,382	1,035	2,427
法人税等調整額	19	147	△ 61
少数株主利益	0	0	0
<b>四半期(当期)純利益</b>	<b>3,003</b>	<b>3,176</b>	<b>4,863</b>

### POINT

#### 1▶ 売上高

横編機事業全体では、バングラデシュ、ASEAN諸国を含むアジア市場で大きく伸びました。また、デザインシステム関連事業では幅広い業界に販路が広がり、手袋靴下編機事業においても受注が回復し、売上高が大幅に増加しました。その結果、売上高は257億84百万円(前年同期比23.1%増)となりました。

#### 2▶ 営業利益

販売費及び一般管理費は増加したものの、売上高の増加がこれを吸収し、営業利益は30億44百万円(前年同期比61.3%増)となりました。

#### 3▶ 経常利益

為替差益を10億97百万円計上したことなどにより、経常利益は43億82百万円(前年同期比0.5%増)となりました。

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期累計 2014年4月1日から 2014年9月30日まで	前第2四半期累計 2013年4月1日から 2013年9月30日まで	前期 2013年4月1日から 2014年3月31日まで
<b>4▶ 営業活動による キャッシュ・フロー</b>	<b>△ 2,903</b>	<b>△ 1,359</b>	<b>△ 2,401</b>
<b>5▶ 投資活動による キャッシュ・フロー</b>	<b>2,204</b>	<b>△ 390</b>	<b>△ 366</b>
<b>6▶ 財務活動による キャッシュ・フロー</b>	<b>△ 994</b>	<b>△ 887</b>	<b>△ 1,596</b>
現金及び現金同等物に 係る換算差額	332	862	1,536
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△ 1,360	△ 1,773	△ 2,828
現金及び現金同等物の 期首残高	13,819	16,648	16,648
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	12,458	14,874	13,819

#### 4▶ 営業活動によるキャッシュ・フロー

売上債権の増加や法人税等の支払などにより29億3百万円の資金の減少となりました。

#### 5▶ 投資活動によるキャッシュ・フロー

定期預金の払戻による収入などにより22億4百万円の資金の増加となりました。

#### 6▶ 財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払や短期借入金の返済などにより9億94百万円の資金の減少となりました。

(注) 詳細につきましては、当社ホームページをご覧ください。

## 会社概要

### 会社概要 (2014年9月30日現在)

商号	株式会社島精機製作所
(英文表記)	SHIMA SEIKI MFG., LTD.
本社	和歌山県和歌山市坂田85番地
創立	1962年2月4日
資本金	148億5,980万円
従業員数	1,226名(連結1,772名)
事業内容	コンピュータ横編機 コンピュータデザインシステム CAD/CAMシステム 手袋編機、靴下編機



本社ビル

### 事業所 (2014年9月30日現在)

#### 支店、テクニカルサービスセンター (TSC)

東京支店	(東京都中央区)
東京 TSC 甲府	(山梨県中巨摩郡昭和町)
東京 TSC 太田	(群馬県太田市)
東日本支店	(新潟県五泉市)
東日本 TSC 山形	(山形県山形市)
東日本 TSC 福島	(福島県伊達市)
西日本支店	(大阪市北区)
西日本 TSC 名古屋	(名古屋市中区)
西日本 TSC 泉州	(大阪府泉大津市)
西日本 TSC 四国	(香川県東かがわ市)

海外支店 台北支店 (台北市)

工場 本社工場 (和歌山県和歌山市)

### 役員 (2014年12月1日現在)

地位	氏名	担当および重要な兼職
代表取締役社長	島 正博	営業本部長
取締役副社長	島 三博	営業本部副本部長
常務取締役	和田 隆	生産本部長兼生産技術部、製造技術部、システム生産技術部担当
常務取締役	有北 礼治	開発本部長
常務取締役	梅田 郁人	営業本部副本部長兼経営企画部長兼島精機(香港)有限公司CEO
取締役	藤田 紀	総務人事部長
取締役	中嶋 利夫	トータルデザインセンター部長
取締役	南木 隆	経理財務部長兼物流部担当
取締役	西谷 泰和	資材部長
取締役	西川 清方	営業統括部長
取締役	一柳 良雄	株式会社一柳アソシエイツ 代表取締役&CEO
常勤監査役	植田 光紀	
常勤監査役	田中 雅夫	
監査役	的場 悠紀	弁護士
監査役	新川 大祐	公認会計士・税理士

(注) 1. 取締役 一柳良雄氏は、社外取締役であります。  
2. 監査役 的場悠紀、新川大祐の両氏は、社外監査役であります。

### 社外取締役 一柳良雄氏のご紹介



いちりゅう よしお  
**一柳 良雄**  
株式会社一柳アソシエイツ  
代表取締役&CEO

2014年6月より社外取締役として経営コンサルタント会社「一柳アソシエイツ」代表取締役&CEO、一柳良雄氏が就任されました。

コンサルタント業務以外にも多彩な活動に取り組む同氏の豊富な知識と経験を活かし、当社のガバナンス体制をさらに強化していきます。

## 株式概要

### 株式の状況 (2014年9月30日現在)

- ①発行可能株式総数…………… 142,000,000株  
 ②発行済株式の総数…………… 36,600,000株  
 ③株主数…………… 18,470名  
 ④大株主

(千株未満切捨て)

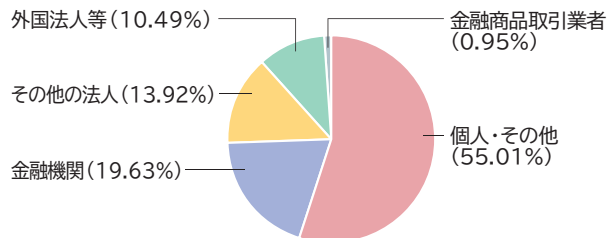
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
和島興産株式会社	2,870	8.39
株式会社紀陽銀行	1,310	3.83
エヌケイ興産株式会社	1,150	3.36
島 正 博	1,070	3.13
島 三 博	1,061	3.10
株式会社三菱東京UFJ銀行	880	2.57
合同会社和光	780	2.28
シマセイキ社員持株会	722	2.11
株式会社池田泉州銀行	700	2.05
後藤ひろみ	697	2.04

(注)当社は、自己株式2,380千株を保有していますが、上記大株主から除外しています。  
 持株比率は、自己株式を控除して計算しています。

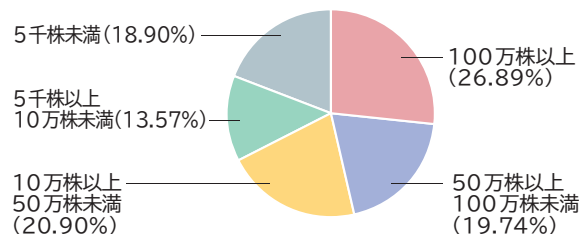
### 連結子会社 (2014年9月30日現在)

株式会社シマファインプレス	(和歌山県和歌山市)
ティーエスエム工業株式会社	(和歌山県和歌山市)
株式会社海南精密	(和歌山県海南市)
東洋紡糸工業株式会社	(大阪府泉北郡忠岡町)
SHIMA SEIKI EUROPE LTD.	(イギリス)
SHIMA SEIKI U.S.A. INC.	(アメリカ)
島精機(香港)有限公司	(中国)
(SHIMA SEIKI (HONG KONG) LTD.)	
SHIMA SEIKI ITALIA S.p.A.	(イタリア)
島精榮(上海)貿易有限公司	(中国)
(SHIMA SEIKI WIN WIN SHANGHAI LTD.)	
SHIMA SEIKI SPAIN, S.A.U.	(スペイン)
東莞島精榮貿易有限公司	(中国)
(SHIMA SEIKI WIN WIN DONGGUAN LTD.)	
SHIMA SEIKI (THAILAND) CO., LTD.	(タイ)
SHIMA SEIKI KOREA INC.	(韓国)

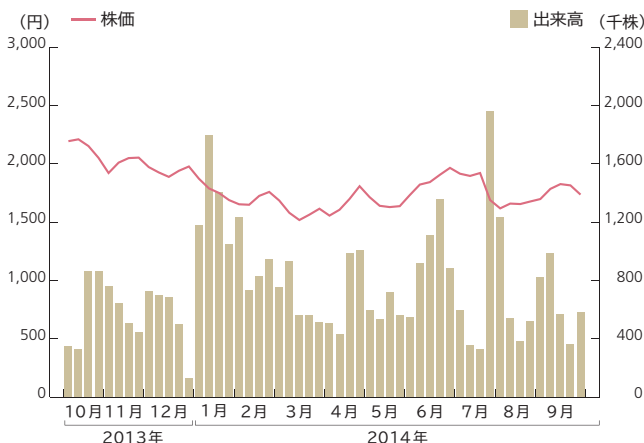
### 所有者別分布



### 所有数別分布



### 株価と出来高の推移



## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで		
定時株主総会	基準日	3月31日	
	開催日	毎年6月	
配当金受領株主確定日	期末配当金	3月31日	
	中間配当金	9月30日	
公告方法	電子公告		
	下記当社ホームページに掲載		
	( <a href="http://www.shimaseiki.co.jp/irj/irj.html">http://www.shimaseiki.co.jp/irj/irj.html</a> )		

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載

株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777(通話料無料)

### (ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



株式会社島精機製作所

〒641-8511 和歌山市坂田85番地  
TEL(073)471-0511(代表)

<http://www.shimaseiki.co.jp/>

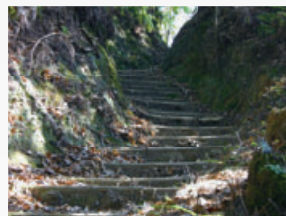
SHIMA SEIKI、シマセイキ、WHOLEGARMENT、ホールガーマント、MACH2、SRY、SSR、SVR、SDS、SDS-ONE、SDS-ONE APEX、P-CAM、トータルファッションシステムは株式会社島精機製作所の日本及びその他の国における登録商標または商標です。

## 和歌山デスティネーションキャンペーン

### 日本人の心のふるさと、和歌山の魅力を全国に発信

今年は「紀伊山地の霊場と参詣道」が世界遺産に登録されて10年目です。「和歌山デスティネーションキャンペーン」は、この節目の年に和歌山の魅力を全国に発信していこうと、JRグループ6社と和歌山県や市町村、観光団体などが協働で実施する大型観光キャンペーンです。

9月14日~12月13日の期間限定で開催されている同キャンペーンでは、「和(なごみ)」をテーマとして日本の旅の原型とされる「熊野詣」や、来年、開創1200年を迎える高野山、からだを癒す良質な温泉など、日本人の心の「ふるさと」ともいうべき和歌山の魅力をアピールするさまざまなイベントが、県内各地で開催されています。



参詣道として有名な熊野古道  
写真提供:熊野本宮観光協会

### あつら 当社も“お誂え”ニットで参加

キャンペーンの一環として、当社は和歌山市の複合商業施設「フォルテワジマ」に「オーダーニットファクトリー」を設け、“お誂え”ニットの販売を行っています。

お客様に素材、色、デザインを選択していただき、一人ひとりに合わせたオリジナルニットをホールガーマント®横編機で編み上げます。



今回のイベントを通じて地元和歌山の活性化に貢献するとともに、ホールガーマントの魅力をより多くの方々に発信していきます。



ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。



この報告書は環境にやさしいベジタブルインキを使用しています。